



車内の金城学院大学

16限目

「手話通訳論」

## 「手話で“好き”って、どうするの？」

[からだ全体でメッセージを伝え合う]

手話でよく使われる“好き”は、親指と人さし指をのぼしてあごにつけ、前に出しながら指を合わせていくものです。そして実際に相手に伝えるときには、この手の動きに加えて表情がとても大切になります。満面の笑みで行えば、「大好き」ですが、あごを引いて上目遣いで相手の目を見れば、「好き？」という疑問形に。また相手の目をじっと見ながらゆっくり一回うなずくと、「好きだよね」というお互いの気持ちを確かめ合う表現にもなります。名前こそ「手話」ですが、実際には視線や顔の表情、からだの動きが大切な言語なのです。

人と人が繋がり合い、支え合う地域社会をつくる。それが現代文化学部 コミュニティ福祉学科。

7/18(日)・8/21(土)  
オープンキャンパス開催!

強く、優しく。



金城学院大学